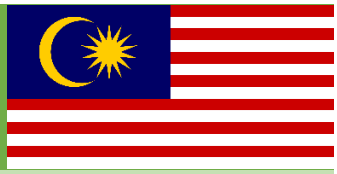
# マレーシアの学生と交流しました！

5 月 23 日(木)午後から、マレーシアの SDAR(Sekolah Dato Abdul Razak:ダト　アブドゥル　ラザ中等教育学校)の生徒 16 名に来校していただき交流を行いました。2 年各クラスの国際係が中心となって交流内容の企画と運営を進めました。

英語での交流ということもあって、うまく意思の疎通ができないこともありましたが、時にはジェスチャーも交えて楽しく交流することができました。

ウェルカムセレモニーではD組の生徒２人による尺八・琴の演奏と、弓道部による弓道の所作の披露をし、またマレーシアの方々からも現地の文化を披露していただきました。クラス交流では、各クラス教室で楽しめるゲームを考え、楽しい時間を過ごすことができました。

## 感想



何よりも心に残ったのは、最初は現地の方々と話すこともうまくできなかったのに、最後には一緒に写真を撮って「とてもいい時間だったよ。ありがとう」と言ってもらえたことです。4 月の終わりから、何度も放課後に国際班で集まって準備してきました。名札やお土産も用意して、ウェルカムセレモニー会場の柔剣道場を飾り付けて、とても楽しみな気持ちでいました。しかし、当日になると当然のように緊張が勝ってしまい、なかなか会話することができませんでした。でも、そこで相手の方も緊張されているのだということに気が付いて、思い切って話を振ってみると、楽しそうに話してくれたのです。自分の拙い英語でも、会話することができる。少しくらい間違っていたって気にしないで、コミュニケーションを楽しめるのだと分かって、そこからは積極的に話せるようになりました。別れ際に日本語で「ありがとう」と言ってもらえて、英語の力だけでなく国を超えて仲良くなれた、良い経験だったと心から思いました。